

時代を牽引する4名のアーティストによる振付

ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る

出演：森下真樹（ダンス） 今西泰彦（ピアノ）

振付：MIKIKO（演出振付家） 森山未来（俳優・ダンサー）

石川直樹（写真家） 笠井勲（舞踏家・振付家）

音楽監督：海老原光

公演日：2018年6月22日（金）—24日（日）

会場：スパイラルホール（スパイラル 3F）

<http://maki-m.com/unmei-spiral>

1つの身体と1台のピアノ。運命が拮抗する、その先へ。

スパイラルでは、2018年6月22日（金）より24日（日）の期間、森下真樹によるダンス公演「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」を開催します。

本公演は、日本で初めてベートーヴェンの交響曲が演奏されたといわれる1918年から今年で100年を迎えることをうけ、日本でもっとも知られている曲である交響曲第5番「運命」の全楽章を時代を牽引する気鋭のアーティスト MIKIKO、森山未来、石川直樹、笠井勲による振付で踊るものです。ベートーヴェンの代表作のひとつとして誰もがそのメロディを想起する「運命」に、揺れ動く不安な社会、さまざまな文化がぶつかり合いながらも共存する現代を投影し、その先へと続くあらたな光を導き出します。

この機会にぜひ、ご取材をご検討いただけますと幸いです。



公演概要

公演名： ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る

日時： 2018年6月22日（金）／開演：19:30（開場：19:00）

6月23日（土）、24日（日）／開演：15:00（開場：14:30）

会場： スパイラルホール（スパイラル 3F）

東京都港区南青山 5-6-23 Tel. 03-3498-1171（スパイラル代表）

チケット： 前売 5,500円／当日 6,000円（全席指定／未就学児童のご入場はいただけません）

主催： 株式会社ワコールアートセンター／森下企画

協力： 河合楽器

企画制作： スパイラル／森下企画

■取材に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター 広報部 金子朱

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7848 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

E-mail press@spiral.co.jp <http://www.spiral.co.jp>

チケットのお取り扱い

MINA-TO (ミナト)	東京都港区南青山 5-6-23 (スパイラル 1F) *店頭販売のみ 営業時間 11:00-20:00 http://www.spiral.co.jp
Confetti(カンフェティ)	Tel. 0120-240-540 (平日 10:00~18:00) confetti-web.com/dance_unmei
チケットぴあ	Tel. 0570-02-9999
イープラス	http://eplus.co.jp

【ご購入前にご確認下さい】

- ・未就学児童のご入場はご遠慮いただいております。
- ・座席はフラットエリアと階段状のエリアがあります。予めご確認のうえご購入下さい。
- ・車椅子でご来場のお客様は、座席指定券をご購入のうえ事前に unmei.spiral@gmail.com までご連絡下さい。

プロフィール

第一楽章振付 **MIKIKO** (演出振付家)

曲から感じる強烈な力と抑揚を、真樹さん自身の人生のストーリーに乗せられたらと思っています。



ダンスカンパニー「ELEVENPLAY」主宰。Perfume, BABYMETAL の振付・ライブ演出をはじめ、様々な MV・CM・舞台などの振付を行う。メディアアートのシーンでも国内外で評価が高く、新しいテクノロジーをエンターテインメントに昇華させる技術を持つ演出家として、ジャンルを超えた様々なクリエイターとのコラボレーションを行っている。

第二楽章振付 **森山未来** (俳優・ダンサー)

僕が妄想する「森下真樹」像を彼女自身がデフォルメして、さらに楽曲がアンプリファイするという、面白いことが起きている。



Photo: Takeshi Miyamoto

1984年8月20日生まれ。兵庫県出身。映画、舞台、TVドラマ等、さまざまなフィールドでキャリアを積む。13年秋より文化庁文化交流使として1年間イスラエルに滞在、インバル・ピント&アヴシャロム・ポラックダンスカンパニーを拠点にヨーロッパ諸国にて活動。近年ではダンスパフォーマンス作品にも積極的に参加しており、演劇、ダンスなどのカテゴライズに縛られない活躍をみせている。

第三楽章振付 石川直樹 (写真家)

本当の体験をしないと意味がない。運命を背負うわけなんだから。



1977年東京生まれ。写真家。東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。人類学、民俗学などの領域に関心を持ち、辺境から都市まであらゆる場所を旅しながら、作品を発表し続けている。『NEW DIMENSION』(赤々舎)、『POLAR』(リトルモア)により、日本写真協会新人賞、講談社出版文化賞。『CORONA』(青土社)により土門拳賞を受賞。著書に、開高健ノンフィクション賞を受賞した『最後の冒険家』(集英社)ほか多数。ヒマラヤの8000m峰に焦点をあてた写真集シリーズを5冊連続刊行。

第四楽章振付 笠井勲 (舞踏家・振付家)

ただ明るいままでは終わらない。

昇りつめるような明るさの先には、神々の喜びや苦悶があるような気がする。



1960年代に若くして土方巽、大野一雄と親交を深め、東京を中心に数多くのソロ舞踏公演を行う。70年代天使館を主宰し、多くの舞踏家を育成。79年から85年ドイツ留学。ルドルフ・シュタイナーの人智学、オイリュトミーを研究。帰国後、15年間舞踊界から遠ざかるも「セラフイータ」にて舞台復帰、数多くの作品を国内外で発表。代表作「花粉革命」でのワールドツアーのほか、ベルリン、ローマ、ニューヨークでも作品を制作。

音楽監督 海老原光

音楽以外のものと関わった時に、初めて音楽の意味が見えてくる。音楽の生命力が際立ってくる。



1974年鹿児島県生まれ。鹿児島ラ・サール中学校、高等学校、東京芸術大学を卒業、同大学院修了。その後ハンガリー国立歌劇場にて研鑽を積む。2007年ロブロ・フォン・マタッチ国際指揮者コンクールで第3位入賞。2010年から2015年9月まで東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクターを務める。指揮を小林研一郎、高階正光、コヴァーチ・ヤーノシュ、ユリウス・カールマー、ペシュコ・ゾルタン各氏に師事。これまでに国内オーケストラと共演を重ねている。

ダンス 森下真樹

力の強い曲で踊ることで、私自身が「音」そのものになれば。



Photo: 427FOTO

幼少期に転校先の友達作りで開発された遊びがダンスのルーツ。これまでに10か国30都市以上でソロ作品を上演。演劇、音楽、美術、漫画等とコラボ、ジャンルを横断。現代美術家 東芋との代表作『錆からでた実』は第8回日本ダンスフォーラム賞を受賞。100人100様をモチーフに幅広い世代へ向けたワークショップや作品づくりを行う。実験的な場を求めカンパニー「森下スタンド」を発足。周囲を一気に巻き込み独特な「間」からくる予測不可能、奇想天外ワールドが特徴。

ピアノ 今西泰彦



静岡県浜松市出身。東京藝術大学卒、同大学院ピアノ科修了。渡欧後、イモラ国際ピアノアカデミー、パリ、ミュンヘン国立音楽・演劇大学古楽科で古楽奏法の研鑽を積む。これまでにソリスト・室内楽奏者として国内外各地でリサイタルを行い、イタリア・メディアセットでの中継、新聞、ラジオ、テレビ番組出演、フジテレビ『HERO THE TV』（2015）、映画『四月は君の嘘』（2016）、TBS『ごめん、愛してる』（2017）等、撮影協力を行う。2017年全日本ピアノ指導者協会新人指導者賞受賞。

関連企画

石川直樹 写真展（仮称）

「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」の開催を記念して、第三楽章の振付を担当する写真家 石川直樹による写真展を同時開催します。

会期：2018年6月19日（火）—24日（日）

会場：MINA-TO, エスプラナード（スパイラル M2F）ほか

詳細は追って <http://maki-m.com/unmei-spiral> にてご案内いたします。